



令和6年3月1日現在

総人口	12,442人
男	6,048人
女	6,394人
世帯数	5,495世帯
島内公民館	電話 47-0264 FAX 40-1264

料理で親睦を深めた

# おとこの料理教室



2月20日「おとこの料理教室」が13人の参加により開催されました。

7回目となる今回は、参加者から「お互いの親交を深めたい」という声があり、親睦会を兼ねて行うことになりました。料理はお酒に合う「おつまみ」を作ることにになり、講師は調理師で市内飲食店で働いている上原匡弘さんをお願いしました。

メニューは「牛すじ大根」や「カキのしぐれ煮」など計5種類。すべて「家庭で簡単にできる物」ばかりの献立です。

参加者の皆さんは、講師から説明の後に早速料理教室で鍛えた手つきで料理を始めました。上原さんも時折、各テーブルをまわりながら手助けをしていました。

日の傾いた頃に料理が完成し、親睦会が始まりました。先ずは「乾杯」。皆さん喉を鳴らして「うまい！」。

参加者の皆さんからは、「牛すじやアボカドなど、日ごろはあまり食べない食材の調理が学べて良かった」「毎回楽しく参加させてもらっている。おつまみ料理をもっとやろう」という声や「今の私にはこの教室はピッタリでやりがいがある」また「家の料理



に何か取り入れて、旨い一品を作りたい」といった感想がありました。

お酒が進むほどに、趣味や生きがい、健康などが弾みました。そして今年度最後となる3月5日の料理教室の前に「世話になった包丁を研ごう」という話に意見がまとまり、3月4日に「また来年度もよろしく」と感謝の気持ちを込めて皆さんで包丁を研ぎました。



**おしながき**

- 牛すじ大根
- 鶏もも肉の山椒焼き
- 帆立貝のバターソテー
- カキのしぐれ煮
- 漬けマグロのカツペ

## ふれ愛コンサート

2月23日、「島内・島立ふれ愛コンサート」が音楽文化ホールで開催されました。

楽団ケ・セラ、島立小学校ブラスバンド部、高綱中学校吹奏楽部、松島中学校吹奏楽部の4団体が、主ホールのステージで演奏をしました。会場には約500人の皆さんが来場し大盛況でした。



過去3年、コロナの影響で地区内小中学校のみの出演となっていました。今年度は、今年度は障がいをもつ方たちで構成される楽団ケ・セラを招きました。この楽団は令和5年度松本市文化芸術功労賞を受賞しています。

コンサートは楽団ケ・セラの楽しい演奏で始まり、島立小、高綱中、松島中と続きまわりました。そして、最後はアンコールに込め3校合同演奏が行われ盛大な拍手が送られました。

## また口

ビーでは高綱中学校生徒徒会が能登半島地震への募金の呼び掛けを行い、多くの来場者が募金をすると「ありがとうございます」と生徒の大きな声が響きました。



## 鬼はそとお!!

2月2日、島内保育園で節分の豆まきが行われました。鬼が教室に入ると、泣きながら先生にしがみつく子もいましたが、子ども達は元気よく豆を投げていました。鬼を退散させた後、保育園には「福の神」がやってきて、子ども達は大喜び。今年もよい一年になりそうです。



### 地域の文化をつなぐ 小宮伝承会 会長 高山純一

小宮は昔から伝統と文化を大切にしている地域で、色々な祭事が行われてきました。中でも小宮公民館前に記念碑がある龍雲寺の祭事は、主なものでも2月に涅槃会法要、5月にお花祭り法要、11月にお十夜法要があります。その他に、古宮神社近くにある御獄山大権現の祭事が7月にあり、年間を通して祭りが催され継承されてきました。

その任を主に担ってきた高齢者クラブ瑞穂会が令和5年3月に、突然解散になりました。お祭りはなんとか継続して欲しいとの声が上がりに、この先のこと考え、誰かがやらなければという気持ちで元町会役員の3名が引き受けることとしました。

会の名称を「小宮伝承会」とし、令和5年4月から祭事を継続しています。

この2月22日には、龍雲寺の祭事である涅槃会法要を高松寺の住職さんをお願いし、ふれあい健康広場の参加者、町会・公民館・健康づくり推進委員の役員の方皆さんからご協力を頂き、無事終了するこ



とが出来ました。

また伝承会では御嶽大権現の石碑、周辺の整備、仏像の補修なども地域の協力を得て取り組んでいます。

今後は、当面このメンバーでお祭りを斎行し、在り方を検討したいと思います。

公民館内の仏壇に祀られている阿弥陀如来や仏像は室町時代のものともみられており涅槃図も珍しいとのこと。

また御嶽大権現碑は格式もあり立派です。伝承会としてはこの様な大切な物をお守りするとともに、小宮の里の安泰を願い皆様と協力しお祭りに携わっていききたいと思っています。

### 農業文庫 農業から考える環境問題 講演会

農業文庫講演会が2月27日に行われ、今回は、農業の視点からの環境問題について信州大学農学部齋藤勝晴教授からお話を聞きました。

講演では、農業の良い点と農業が原因となつている環境問題の解説がありました。

農業の良い点の例として、田畑には雨水を貯める機能があると説明されました。

「大雨の際には一度に流れる川の水量を少なくすることが出来る。一方で、肥料を

たくさん使うと農作物が吸収しきれなかった栄養素が流れ出し、川や海の汚染につながる。しかし、極端に肥料を制限するなどの環境対策を厳しくしすぎると収穫量が減るなど経済活動にデメリットが発生してしまう。

これからは環境問題と経済活動の両立が重要でそこでは、適切な管理をする農業がポイントにもなる。例えば、土壌分析をし、緑肥やたい肥を使い土を健全に保つなど自



分のできることもある」と話されました。

参加者からは、「自身の農業について考える良い機会になった」「自分のこととして取り組まなければ」という声がありました。

### 真がいと回さ合つて

竹内さんご自身の書画展

竹内さんは脳出血により半身麻痺が残っています。写真の絵は約三か月かけて丁寧に描かれ、今年度の県障がい者文化芸術祭で奨励賞を受賞しました。公民館の廊下に展示中です。ぜひご覧ください。



題名 「近所の線路から見た鉢伏山」



2月7日~3月1日 鉄道模型展



1月15日~1月12日 山田氏の会【陶芸作品展】



1月4日~1月12日 島内書道愛好会作品展



公民館 ホームページ



地域づくりセンター X(旧ツイッター)